

※植生調査結果については希少種情報が含まれるため、一部非公開。

2) 付替候補ルート周辺箇所（植生(群落)・希少種) ※図 1-4 を参照

《二の沼～三の沼側》

[01] 2' トドマツ群落(疎)

トドマツ疎林（樹高 6～10m）。下層にはチシマザサやクマイザサが密生する。ダケカンバも点在し、一部ダケカンバの疎林のようになる場所も見られる。

[02] 2 トドマツ群落

トドマツの密度が全体的にやや高くなるが、場所によってその密度は大きく異なる（樹高 6～10m）。トドマツのかなり密生する場所やダケカンバの多い場所も見られる。

[03] 1 ハイマツ群落

ハイマツ（樹高 1.6m 程度）が密生するが、一部ハイマツの密度が低くなりクマイザサが多く混生する場所も見られる。

二の沼を横に見る地点（候補ルート）から見える水の中には、希少種が 100 個体以上生育。

[04] 5 クマイザサ群落

クマイザサが密生するが、草丈は 0.5m 程度。

[05] 3 ダケカンバ群落

ダケカンバ低木林（樹高約 5～6m）。ナナカマドなどの低木が混じる。下層では、ハイマツ、チシマザサやクマイザサなどが密生し、ゴゼンタチバナやコヨウラクツツジなどの生育が見られる。

[06] 1 ハイマツ群落

ハイマツ群落（樹高約 2.5～3m）。下層にはクマイザサやチシマザサが密生する。一部ササが少なく、ゴゼンタチバナやマイヅルソウなどが多く生育する場所がある。

[07] 3' ダケカンバ群落(疎)

ダケカンバ低木疎林（樹高 4～7m）。オガラバナやナナカマドなどの低木が混じる。下層にはチシマザサやクマイザサが密生し、シラネワラビやクロウスゴなどが生育する。

[08] 1 ハイマツ群落

ハイマツ群落（樹高 1.6～3m）。下層にはチシマザサやクマイザサが密生する。

**[09] 3' ダケカンバ群落(疎)**

ダケカンバ低木疎林（樹高3～6m）。下層にはハイマツやクマイザサが密生する（特に[10]付近15m程はダケカンバが無くなりハイマツ群落と考えた方がよい）。

**[10] 9 ミタケスゲ等の湿生草本群落**

ミタケスゲ等の生育する湿生草本群落（木道・展望デッキを除く）。

図には既存箇所④の調査結果より、付替ルートに近接（展望デッキの脇）する希少種の1個体生育情報を再掲する（調査時は確認できなかった）。

**[11] 3 ダケカンバ群落**

ダケカンバ低木林（樹高3～6m）。オガラバナなどの低木も混生する。下層はチシマザサやクマイザサが密生する。

湿地の頭と接する箇所、キタノカワズスゲやイなどが生育する。

**[12] 3' ダケカンバ群落(疎)**

ダケカンバ低木疎林（樹高約3m）。下層にはチシマザサやクマイザサが密生する。

**[13] 1 ハイマツ群落**

ハイマツ群落（樹高2～2.5m）。ハイマツはやや疎で、チシマザサやクマイザサが密生する。

**[14] 3' ダケカンバ群落(疎)**

ダケカンバ低木疎林（樹高3～7m）。下層にはチシマザサやクマイザサが密生し、シラネウラボシやミミコウモリなどが生育する。

**[15] 3' ダケカンバ群落(疎)**

ダケカンバ低木疎林（樹高3～5m）。チシマザサやクマイザサが密生する。

**[16] 1 ハイマツ群落**

ハイマツ群落（樹高約2m）。チシマザサやクマイザサが密生する。

**[17] 2 トドマツ群落**

トドマツ群落（樹高8～10m）。やや疎。樹高6m程度のダケカンバがまばらに生育し、チシマザサやクマイザサが密生する。

**[18] 2' トドマツ群落(疎)**

トドマツ疎林（樹高8～10m）。樹高1.5～2mのハイマツが生育し、その下層にはチシマザサやクマイザサが密生する。

**[19] 5 クマイザサ群落**

クマイザサが密生する。

**[20] 3' ダケカンバ群落(疎)**

ダケカンバ低木疎林（樹高 5～7m）。下層には樹高 1.5～2.5mのハイマツが多くみられ、ゴゼンタチバナ、イワツツジやクロウソゴなどの生育が見られる。

**[21] 3 ダケカンバ群落**

ダケカンバ低木林（樹高 5～7m）。下層にはハイマツが多く生育する。

**[22] 2 トドマツ群落**

トドマツ群落（樹高 6～9m）。ダケカンバの生育も多い。下層にはクマイザサが密生する。

**[23] 2' トドマツ群落(疎)**

トドマツ疎林（樹高 8～10m）。下層には高さ 2m程度のハイマツが多く生育し、クマイザサが密生する。

**[24] 1 ハイマツ群落**

ハイマツ群落（樹高約 2.5m）。下層にはクマイザサが多く生育する。

**[25] 2 トドマツ群落**

トドマツ群落（樹高約 8m）。ダケカンバも多く混生する。下層にはクマイザサが密生する。

**[26] 3 ダケカンバ群落**

ダケカンバ群落（樹高 5～8m）。下層にはクマイザサが密生する。

**[27] 2 トドマツ群落**

トドマツ群落（樹高 8～10m）。樹高 6～8mのダケカンバが多く生育する。下層にはクマイザサが密生する。

**[28] 3' ダケカンバ群落(疎)**

ダケカンバ低木疎林。下層にはクマイザサが密生する。

**[29] 2' トドマツ群落(疎)**

トドマツの疎林だが、樹高 2～3mのハイマツが多く生育し、クマイザサの生育も多い。

**[30] 1 ハイマツ群落**

ハイマツ群落（樹高約 2.5m）。下層にはアカミノイヌツゲやクマイザサが多く生育する。

**[31] 2 トドマツ群落**

トドマツ群落（樹高 8～10m）。樹高 5～6mのダケカンバが点在し、クマイザサやチシマザサが密生する。

**[32] 2' トドマツ群落(疎)**

トドマツ疎林（樹高 8～10m）。樹高 5～7mのダケカンバも多く生育する。下層にはクマイザサやチシマザサが密生する。

**[33] 3 ダケカンバ群落**

ダケカンバ群落（樹高7～8m）。下層にはクマイザサやチシマザサが密生する。

**[34] 2 トドマツ群落**

トドマツ群落（樹高7～10m）。ダケカンバの生育が多くみられる。下層にはクマイザサやチシマザサが密生し、トウゲシバやハイイヌツゲなどの生育が見られる。

《羅臼湖側》

**[01] 5 クマイザサ群落**

クマイザサ群落（高さ0.6～1.5m）。

**[02] 5' クマイザサ群落(ハイマツ混生)**

クマイザサ（高さ0.7～1m程度）が密生し、樹高1.5m程度のハイマツがまばらに生育する。

**[03] 5" クマイザサ群落(樹高低)**

クマイザサ群落（高さ0.3～0.5m）

**[04] 9 ミタケスゲ等の湿生草本群落**

ミタケスゲ等の生育する湿生草本群落にクマイザサ（高さ0.3m）が混生している。

**[05] 5 クマイザサ群落**

クマイザサ群落（高さ0.5m程度）。ハイマツ群落とミタケスゲ群落の間を通り、ミタケスゲ群落と接する。

**[06] 5 クマイザサ群落**

クマイザサが密生する（高さ約0.5m）。ハンゴンソウやイワノガリヤスなども生育。

図には既存箇所⑨の調査結果より、候補ルートに近接する希少種を再掲する。